

第123回日本商工会議所表彰 事業活動表彰受賞

～本日(4/14)の**新潟日報**で紹介されました～

燕 「磨き屋」取引先拡大

加茂 職員旗振り観光振興

日本商議所が表彰



●磨き屋シンジケートが開発したエコカップ
●加茂商工会議所が主催した歴史散策ツアー2015年12月、加茂市

日本商工会議所は全国51県連合会が受賞した。00以上の商議所を対象に年2回表彰を行っている。このうち事業活動表彰は、他の模範となる運営や活動をした商議所に贈られる。3月の表彰式では、燕、加茂のほか全国8商議所と

1県連合会が受賞した。燕商議所の磨き屋シンジケートは、外国との価格競争や職人の減少によって衰退していた研磨業を活性化させるため、2003年に始まった。ホームページを開発して共同で受注すること

とで、1業者では対応できなかった大量注文を受けられるようになり、自動車部品会社など、取引先の新規開拓につながった。08年にはステンレス製のピアカップ「エコカップ」を開発し、全国的な人気商

品となった。会員も当初の20社から市内外の32社に増えている。

燕商議所の田野隆夫会頭は「もともと高い技術があった燕の研磨業者がまとまったことで成果を出せた。燕の地場産業が認められての表彰だ。誇りに思うし、今後もアピールしていきたい」と話している。

加茂商議所は、11年度から観光振興に取り組み始めた。加茂市の加茂山にある散策路を「加茂山古道」と名付けて散策マップやポスターを作り、新たな観光スポットとしてPR。職員がガイドを務めて山城跡などを巡るツアーや加茂山古道のハイキングを開催している。

伝統産業の桐たんすの技術を生かして六角形の升を開発したり、雪椿の花びらを使った染め物を作ったりと、特産品開発にも力を入れている。

加茂商議所の太田明会頭は「加茂は歴史が詰まった街で、交流人口の拡大に向けてソフト面の開発をしてきた。小規模の商議所でもこれだけの評価を得られたのがうれしい」と話している。

この度、当商工会議所の観光振興にかかる取り組みが認められ、第123回日本商工会議所表彰を受賞し、3月17日(木)に開催された日本商工会議所会員総会(於：帝国ホテル/東京都)において、日本商工会議所三村会頭から太田会頭に表彰状が手渡されました。

今回の受賞は、加茂山古道散策マップやポスターの作成、まちあるきツアー開催、雪椿の花びら染や六角升之助をはじめとする特産品開発等、観光振興の取り組みが評価されたものです。

今後も加茂の魅力を市外、県外へ発信し、にぎわいのあるまちづくりを推進していきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。